

概要

関東地方整備局では、平成28年度から一部の橋梁について職員自らが行う**直営点検・診断**を試行している。

対象橋梁：構造形式が単純な橋梁
点検職員数：10名（講習会も兼ねている）
H28実施数：12橋（予定）

座学＋点検＋診断検討をセットで実施

成果

- 職員の技術力向上
- 軽微な損傷対応の迅速化
- 過年度点検の不備の発見



課題

- 小規模橋梁でも時間を要するため、効率化に向けた検討が必須。
- 点検職員の確保
- 技術の伝承体制の構築（職員の異動に伴う対応）

概要

豊島区では、年に1度職員による日常点検を実施し、点検に関する講習会も同時に行っている。

対象橋梁： 管理する全橋梁
点検および講習会参加職員数： 7名
H27実施数： 14橋（横断歩道橋含む）

成果

- 職員の技術力向上
- 若手職員への技術の継承
- 損傷の早期発見による第三者被害防止



課題

- 近接目視が可能な箇所が限られ、橋の健全性を正確に評価できない。
（過去の点検後、排水用鋼管の蓋が腐食し落下した）
- 経験豊富な職員の異動により、技術レベルの低下が懸念される。

点検用具



池袋南交差西側歩道橋



池袋大橋



概 要

あきる野市では、一部の橋梁について職員自らが行う直営点検を導入している。

対 象 橋 梁:	小規模橋梁
点検職員数:	3名
H27実施数:	1橋
H28実施数:	2橋



成 果

- 職員の技術力向上
- 点検実施率の向上
- 外部発注よりコストは削減できる。

課 題

- 小規模橋梁が多数あり、限られた職員での点検のため、点検日数を多く要する。
- 診断の統一性、診断結果に不安が残る。
- 職員(技師)も少なく、異動も定期的であることから、技術の伝承が困難である。